

令和8年4月20日

教職員各位

福山大学

学長 大塚 豊

夏季の省エネルギー対策について

夏季の冷房シーズンを迎え、電気需要量の増加が見込まれます。加えて、国際情勢を背景に、原油価格の上昇が続いており、我が国においても電力コストの増加が懸念されています。このような世界的なエネルギー需給の逼迫を踏まえ、エネルギーの効率的な利用は、社会全体として重要性を増しています。

また、省エネ法により、本学は第二種エネルギー管理指定事業場（※注1）となっており、毎年、前年度エネルギー使用の1%以上の省エネ目標が課せられています。

教職員の皆様においては、下記の節電を心掛けていただき、適切な学習環境を確保した上で、無理のない範囲で省エネの取組を推進していただきますようお願いします。

記

【夏季のお願い】

1. 室温の適正管理（健康を第一に、温度は柔軟に設定）を徹底するようエアコンの適正運転を図ること。
フィルターの汚れは過剰な電力消費及び故障の原因になるので、研究室及び実験室のフィルター清掃を実施すること。
2. 教室・実験室・研究室等の照明・エアコンは、授業終了時に各教員において必ず消すこと。
冷房使用期間は、7月から9月中旬までとする。但し、授業や業務に差し支えある室温になった場合、適宜、冷房を使用できる。
3. クールビズの実施（5月1日から10月31日）
原則として軽装（ノーネクタイ、ノージャケット）で業務を行うこと。
ただし、教育機関の教職員としてTPOをわきまえた服装とすること。

【通年のお願い】

1. 廊下・トイレなどの照明は、必要でない時は消灯すること。
2. 研究室等を授業等で留守にする場合は、照明・エアコンを必ず消すこと。
3. 昼休みは、原則、部屋の照明を消灯すること。
4. パソコン等OA機器を使用しない時はシャットダウンするなど電力消費軽減の努力を行うこと。
5. 長期間使用しない実験機器等及び電気製品のプラグをコンセントから抜くこと。

※注1 第二種エネルギー管理指定事業場とは、年度のエネルギー使用量が原油換算で1,500kl以上3,000kl未満の工場・事業場のことをいいます。

【本学のエネルギー使用量:1,639KL(令和6年度)】